

徹底的な武装中立を志すスイスでは、戦争に対してとても現実的な考えを持っています。四方を地続きの他国に囲まれ常に侵略の脅威に晒されたスイスは、1969年当時冷戦の高まりを受け、政府が冊子『民間防衛』を各家庭に260万部発行・無償で配布した歴史があります。その中で紹介されている他国からの侵略について書かれた章を、戦後の日本に当てはめてみると…**あれれ? 今の日本ってかなりピンチじゃない!?**



スイス政府発行「民間防衛」より

『武力を使わずに他国を侵略し乗っ取る方法!』



第一段階 「工作人員を送り込み、政府上層部の掌握、洗脳」

日本に当てはめてみると?

大東亜戦争後、アメリカの占領下1946年に20万人近い保守系や右翼の人々が公職を追放されました。そこへ戦前に肩身の狭かった左翼の人たちが多く入り込みました。そして現在は左翼に擬態した反日国(中国、韓国、北朝鮮)の帰化人議員たちが大勢入り込み、国会を停滞や混乱させるまでに至っています。マスコミはこういう側面は報じずに隠し続けています【[報道しない自由](#)で検索】。



第二段階 「宣伝、メディアの掌握、大衆の扇動、無意識の誘導」

日本に当てはめてみると?

アメリカ占領下では、日本がアメリカに歯向かわないように徹底的に「日本が悪かった」という刷り込みを日本人に行いました【[WGIP](#)で検索】。そこで自虐的な国家観と本来持つ必要のなかった罪悪感を植え付けられました。日本人はその心理を反日外国人に長い間利用され【[在日特権](#)で検索】、しなくていい損をしてきました。



第三段階 「教育の掌握、国家意識の破壊」

日本に当てはめてみると?

第一段階で左翼教育者が数多く教育現場に入り込みました。その結果、国旗国歌を軍国主義の象徴と忌み嫌い、国歌を歌う機会や国旗を掲揚する機会を生徒から奪う先生が存在しました【[日教組](#)で検索】。彼らにより自国に誇りを持たないようにする教育が繰り返されてきたのです。例えば、生徒自身の手で、音楽教科書の『君が代』のページにプリントを糊付けさせる等もその一環です。



第四段階 「抵抗意志の破壊、平和や人類愛をプロパガンダとして利用」

日本に当てはめてみると?

第三段階で、国民に戦災の悲惨さのみを強調し、戦争に至った当時の世界情勢や政治的な背景などは無視する教育をしました。その結果「戦争について考えること自体を悪」とし、侵略と自衛の区別もせず反戦のみを唱え、防衛について話すことすらタブー視するようになりました【[平和ボケ](#)「[お花畑思考](#)」で検索】。共産党議員が国会で防衛費を「人を殺すための予算」と貶めたのもその一環です。



第五段階 「教育や宣伝メディアなどを利用し自分で考える力を奪う」

日本に当てはめてみると?

メディアが「印象操作」や「虚偽・捏造報道」や「情報の隠蔽」を行い、国民の政治不信を煽り、政治を不安定にします。主に、手軽に情報を手に入れられるテレビや新聞がその役割を果たします。正確な情報から遮断され惑わされた国民は正確な判断ができなくなります。現在、テレビと新聞は倒閣のためのフェイクニュースを流し続けていて、それに騙されている人が少なからずいます。



今、ココ!



最終段階 「国民が無抵抗で腑抜けになった時、大量植民」

日本に当てはめてみると?

今や中国の船は尖閣諸島や日本の領海を毎日航行し【[サラミ戦術](#)で検索】、北朝鮮のミサイルは目視できるほどの近距離に落下するようになりました。にもかかわらず、野党とマスコミは内閣批判のニュースに明け暮れ、肝心なニュースがおまけのように報じられています。「いつものこと」と慣らされて大した事ではないつもりでいると…**チベットのように侵略されるかも→**

実は、現在の専守防衛を掲げる日本は、侵略する側ではなく、される側です。テレビや新聞を100%信じていると、とんでもない方向に誘導されてしまうかもしれません。「変だな」と思ったらすぐ[検索](#)して、自分で情報を確かめる習慣をつけて防衛しましょう。



GAME OVER

※このチラシは今の周辺諸国やメディアに対して危機感を抱いている個人が作りました。まずはこれ自体を疑って検索してみてください。